

2019年12月25日

兵庫県社会保障推進協議会  
〒650-0047 神戸市中央区港島南町5-3-7  
兵庫県民医連内  
電話 078(303)7351 / FAX 078(303)7353  
Eメール: syahokyou@hyogo-min.com

- \*宝塚市自治体キャラバン1月14日(火)13時30分、12時30分市役所内日本共産党控室集合
- \*阪神・淡路大震災25周年メモリアル集会「大震災から25年暮らしと生業は復興したか」1月17日(金)13時神戸市勤労会館7階大ホール、関連行事・長田のつどい
- \*中央社保協全国代表者会議予定2月5日(水)10時30分、参議院議員会館内会議室
- \*北社保協第24回総会2月8日(土)13時30分、鈴蘭台自治会館、井口克郎神戸大学准教授講演

## 兵庫県下自治体キャラバン実施

### 神戸市国保年金医療課懇談：重点項目で国保改善訴える



社会保障推進協議会神戸市協議会は12月24日(火)、自治体キャラバン神戸市懇談として国保の問題に絞って国保年金医療課と懇談しました。神戸市協議長の中川氏ははじめ18名が出席。日本共産党の森本市議も同席しました。神戸市は国保年金医療課から4名が対応しました。

社保協神戸市協議会が提出した要望書に対する神戸市からの回答を踏まえ、「国保運営」「保

険料引き下げ」「神戸市独自控除・激変緩和措置継続、子ども均等割軽減」「国保法44条」「窓口留置、短期証・資格証明書」「滞納者給付制限」「財産調査差押え」等、時間の関係で7項目を重点的に懇談しました。

国保の「しおり」に社会保障及び国民健康に寄与する目的を書いた国保法第一条の文言は明記せず、施行規則にあるだけのマイナンバーを記述する神戸市の姿勢や国保都道府県化を理由に市独自の控除を廃止する考えを正しました。県下でずば抜けて高い神戸市の子どもの均等割り課税について、約13億円の負担でできること、来年度から免除する加西市の取り上げ、神戸市も子育て支援を語るならば、子どもへの均等割り減免の実施を求めました。また、滞納者への給付抑制では東灘区・東神戸病院の患者さんで、がん治療を受けることになった男性の事例を示し、「特別な事情」がある生活実態が分かっているはずにも関わらず、市独自の「内規」で決めている「滞納額の半額負担」を迫って対応した実態に対して改善ときめ細やかな対応を訴えました。

### 豊岡市：こども医療費の窓口負担無料化を訴える

豊岡市キャラバンが12月18日(水)に豊岡市役所で行われました。今年は例年になく暖冬で、雪もない中でのキャラバンでした。県社保協から1名、たじま医療生協から2名、兵庫県保険医協会から1名、地元豊岡市会議員から1名も同席しました。豊岡市側からは市民課、税務課、社会福祉課、高年介護課、健康増進課の各課長らが対応し、社会保障や行政サービスについて懇談を行いました。

国保料の滞納の財産差し押さえについては、負担の公平性の観点からとして、どこまでが生活困窮なのか調査をして、財産がなければ分納相談も行っているが、「財産隠匿を許さないよう厳格に行っている」という姿勢を崩しませんでした。また、子ども医療費の外来・入院費用の一部負担金の無料化については、「相互扶助の観点から、みなで支えあうという考え方に立っており無料化は考えていない」とのこと。今後、そのかわりに市では貧困対策を重点に置き、ひとり親家庭に対して具体的なことは未定だが、一定の生活支援の検討を進めているとのことでした。但馬地域ではこのほか朝来市・養父市、新温泉町・香美町との懇談を今後予定しています。(たじま医療生協 和田)

